

岡山 裕 研究会（アメリカ合衆国の政治）・三次募集 募集要項

当研究会では、2022 年度の受講生（13 期生）を以下の要領で追加募集（若干名）します。ご関心のある方はよく読んで応募ください。

本研究会のねらい

この研究会では、アメリカ合衆国の政治を扱います。アメリカについては日本でも日常的に多くの情報が入ってくるので、なんとなくわかった気になりがちですが、いざアメリカでなぜあることが起きるのかを説明しようとする、難しいのではないのでしょうか。アメリカは世界で初めて民主的な政党政治が発達し、他方で 19 世紀半ばまで奴隷制が残るというように、独特の政治的展開を経てきました。わかっていそうでよくわからない政治を解き明かすのはとても面白く、また日本から多くの情報にアクセスできる利点もあります。

この研究会では、アメリカ政治の研究を通じて受講者が筋道立って考え、きちんと議論できるようになること、そしてそれを楽しめるようになることを目指しています。そのため、単にアメリカについて色々読んで勉強する、というのではなく、なるべく早い段階から各自でテーマを設定して独自の研究を進めてもらうことにしています。全体で読む文献は選挙や政策形成に関するものが多くなりますが、個人研究のテーマは、歴史を含め、アメリカに関することならなるべく幅広く認めることにしています。

当研究会では、課題文献の講読もしますが、徐々に受講者による研究の成果発表とそれについての議論の比重が多くなっていきます。そのため、研究会の充実度は、各自が個別に研究に取り組む意欲に大きくかかってきます。徹底的に先行研究や資料を探して読み、独自の議論とその検証方法を試行錯誤して考えるといった自主性や根気強さが要求されますし、それにはそれなりの時間を割くことも必要になります。

研究で何より大事なことは、誰も知らない・わかっていないことを明らかにしたい、みんなをびっくりさせてやろう、という好奇心や健全な目立とう精神です。正直、研究では楽しいよりも大変な思いをする時間の方が長いですが、前に進んだときの達成感は格別です。また真剣にやればやっただけ各種の知的能力や英語力など関連スキルが身につけていきます。担当教員としては、情熱を持って取り組む人への助力は惜しみません。仲良く切磋琢磨していける諸君の応募をお待ちしています。

なお例年は、通常の授業以外に夏合宿（2泊3日）、神戸大学の安岡正晴ゼミとの合同ゼミ（三田祭の前後の時期に、三田・神戸を毎年交互に行き来して開催）、OBOG 会（秋）、卒業論文報告会（2月）などを実施しています。コロナ禍のため形態は変わるかもしれませんが、極力皆さんの議論と交流の場を充実させたいと考えています。

応募に際して留意すべき点

- ・当研究会は、水曜日の 4・5 限に 3・4 年生合同で授業を行っており、延長することもあります。水曜日の 4 限以降に定期的な予定を入れないことが入会の条件になります。
- ・当研究会では、途中で留学に出ることは差し支えありません。また法学部政治学科の学生と同様の条件で活動できる場合に限り、他学部・他学科の学生の応募を認めます。
- ・研究会の進め方などについての質問を歓迎します。次ページ記載のメールアドレスまで適宜ご連絡ください。

選考についての注意事項

次ページの要領に従って応募書類を提出していただいた後、2022 年 3 月 24 日（木）に担当教員との個別面接（オンライン）による選考を予定しています。

応募方法

①以下の課題全てを一つにまとめた文書（マイクロソフト・ワード形式）および、②最新の成績表のスキヤンあるいは写真にとったもの（選考の参考にします）のファイルの二つを、担当教員宛電子メールの添付ファイルとして以下の要領でお送り下さい。受信を確認し次第その旨返信するので、1日以上経っても返信のない場合は確認の連絡をとってください。提出の遅れや他の手段による提出は認めないので、余裕を持って行動すること。

送付先アドレス： okayama@keio.jp （件名を「研究会応募」とすること）
締め切り： 2022年3月21日（月）（厳守・当方が受信した時刻で判断します）

提出課題

・以下の二つの課題は、選考で最も重視されます。評価に際しては、内容の充実もさることながら、課題に正面から取り組んでいるかどうか（形式的な指示を守っているかを含む）を最も重視します。

- ・文書はA4サイズ・横書きで作成し、記述は全て日本語で行うこと。
- ・いずれの課題についても、適宜信頼できる文献を参照し、適切に註を付けること。
- ・ファイルの最初のページに氏名、所属学部・学科、学籍番号、電子メールアドレス、統一選考日当日に連絡のとれる電話番号を記載したうえで、1段落程度で簡単な自己紹介を書いてください。そのうえで、次のページから課題の叙述を行ってください。

課題1： 研究計画 研究への意欲や、筋道だって説明する力を評価します。

入会が認められたらどんな研究をしたいか、2000字以上で説明してください。その研究で答えを出そうとする問い（リサーチ・クエスチョン）を設定したうえで、それに答えることの学術的・社会的意義、そしてそれに対して具体的にどんな資料やデータをどのように分析して答えを出そうとするのか（またなぜその方法が適切といえるのか）、予想される答えを述べてください。

課題2： 論文評 批判的に議論する力を評価します

以下の論文を読み、3000字以上で批判的に論評*してください。なお、この論文は2022年度春学期の課題文献に含める予定です。

Willam G. Howell and Terry M. Moe, “America’s Crisis of Democracy,” *Political Science Quarterly*, Vol. 136, No. 1 (2021), 105-127.

*「批判的論評」とは、著者の議論の全体またはある（重要な）一部について、どこまでが妥当で、どこからがどういう理由で正しくないと思われるか、そして自説がなぜ正しいのかを、理屈と根拠を明確にしつつ、批判された側も納得するような形で議論することを指します。従って、ただ文献を攻撃するのではなく、その限界を的確に見定めて丁寧に説明し、それを乗り越える代案を提示することが求められていると考えてください（これは学術的な議論の基本的姿勢です）。

・アメリカ政治（史）を初学者向けに解説した書物として、以下を勧めます（自著の宣伝のようになってしまい恐縮ですが）。ただし、今回の課題に取り組むにあたりこれらさえ読めばよいという意味ではありません。

岡山裕『アメリカの政党政治—建国から250年の軌跡』（中公新書、2020年）
岡山裕・西山隆行編『アメリカの政治』（弘文堂、2019年）